

重右エ門池 ハザードマップ

新穂地区 新穂青木・新穂長畝

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。（決壊から最大60分後まで計算）

満水状態のため池の堤体が瞬時決壊（天端から池底まで）し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。（河川氾濫や内水氾濫は未考慮）

津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。（佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です）

●佐渡市地域防災マップ（新穂・畑野地区版） 平成31年3月作成



ため池諸元 ※ため池台帳より

築造年代	昭和時代
堤高	2.0m (1.9)
堤長	50.0m
天端幅	2.0m
貯水量	2,000㎡ (1,100)
受益面積	1.0ha
管理者	

※()内は、令和2年4月の計測値
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差

凡 例

.....	氾濫水の到達時間
ため池氾濫による最大浸水深	
3.0m以上の区域	
2.0～3.0m未満の区域	
1.0～2.0m未満の区域	
0.5～1.0m未満の区域	
0.3～0.5m未満の区域	
0.3m未満の区域	



重右エ門池

指定避難所
行谷小学校体育館

地区避難場所
青木転作促進研修センター